

サウンド オブ ザ スカイ
Sound of the Sky

植草ひろみ
&
早川りさこ

～チェロとハープが紡ぐ天空の調べ～

癒しと情熱を奏でるチェリスト“植草ひろみ”と、国際的に活躍する
NHK交響楽団のハーピスト”早川りさこ”による珠玉の演奏会

2017.11.26(日)

君津市民文化ホール

中ホール

開場 13:30 開演 14:00

主催：公益財団法人君津市文化振興財団／虹の音楽会

Program

※本プログラムは変更となる場合がありますのでご了承ください。

メンデルスゾーン/シュテックメスト 『歌の翼』による幻想曲

メンデルスゾーンの歌曲である『歌の翼』を、シュテックメストがフルートとピアノのために幻想曲として編曲されたものです。

サン＝サーンス 白鳥

『動物の謝肉祭』の中の1曲で、本来はピアノ2台とチェロで演奏されます。優雅な白鳥の水面に浮かぶ姿が美しく想像されます。

ショパン ノクターン Op.9-2

ピアノ曲として大変有名なこの曲ですが、ピアノの持つ響く消える音で表現するロディーをチェロのレガートとハーブで表現します。

クライスラー 愛の喜び

名ヴァイオリニストであったクライスラーが書きました『古いウィーンの舞踏歌』3部作の1曲で、3拍子の明るい喜びにあふれています。

トゥルニエ ノクターン

ハーブとチェロのために書かれた数少ないオリジナル曲です。トゥルニエ自身もハーブ奏者だったこともあり、ハーブのアルペジオが効果的に使われ聞き応えのある曲となっています。

早川正昭 牧歌

早川氏が青春時代に作曲した作品を、今年1月の早川と植草のコンサート『Sound of the sky』の為に、ハーブとチェロ用に新たに編曲された力作です。

マスカーニ 間奏曲

歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』より

『カヴァレリア・ルスティカーナ』(田舎騎士道)はイタリアで人気を博した歌劇です。本来オーケストラで演奏されるこの曲を、印象的な構成でチェロとハーブで演奏します。

ロジャース エーデルワイス

映画『サウンド・オブ・ミュージック』の劇中でトラップ大佐が蕾を懐かしむように歌う名曲です。

フェイン 慕情

映画『慕情』の主題歌でマット・モンローによって歌い上げられ世界的にヒットしました。

ピアソラ オブリビオン

アルゼンチンのタンゴバンドネオン奏者であったピアソラが、映画『エンリコ4世』の為に作った曲で、日本語訳は『忘却』です。

カタロニア民謡 鳥の歌

チェロの巨匠であったパウ・カザルスの故郷スペイン・カタロニア地方の民謡で、本来はクリスマス・キャロルとして歌われます。

タヘル フラメンコ

スペインの作曲家タヘルが書きましたチェロのソロ曲で、スバニッシュギターのような奏法で情熱的に弾き鳴らします。

ヒナステラ 忘れる木のうた

ヒナステラはアルゼンチンの作曲家です。ミロンガのリズムに合わせて歌われる曲で、短いながらも素敵なウィットに富んだ曲です。

ラミレス アルフォンシーナと海

フォルクローレの名曲であるこの曲は、アルゼンチンの詩人アルフォンシーナ・ストルニの事を取っています。

カサド 愛の言葉

スペインのチェリストであったカサドが師匠であるカザルスに贈った曲で、情熱に溢れたスペインの気質を感じることができます。

植草ひろみ チェロ

オフィシャル・サイト：<http://www.U1.sokei.co.jp/Hiromi>



東京藝術大学卒業後、10年間新日本フィルハーモニー交響楽団に在籍した。5枚のCDと3つのハイレゾ配信アルバムがリリースされ、その内容は多岐にわたっている。自身のライフワークであるアルゼンチンの作曲家ピアソラの曲集『Cafe1930』、音楽誌を中心に高い評価を得た『いつかの美しい日のように』（共演：早川りさこ）、作曲家でピアニストの中村由利子とのユニット"リベロバ"による『This is Liberoba』、奇跡のチェロカルテット『超チェロ組』などである。

国内外のアーティストとの共演も多く、アンドレ・ギャニオン、久石譲、ペギー葉山、中村雅俊、江原啓之など各氏のコンサートやレコーディングに参加している。ラジオのパーソナリティ、後進の育成、またベジタブル&フルーツアドバイザーの資格を持ち、活躍の幅を広げている。

早川りさこ ハープ

オフィシャル・サイト：<http://risakohayakawa.web.fc2.com/>



NHK 交響楽団ハープ奏者。東京藝術大学卒業後、第3回日本ハープコンクール、及び第2回アルピスタ・ルドヴィコ・スペイン国際ハープコンクールにて優勝。ソロ、室内楽での活動の他、小澤征爾氏率いるサイトウ・キネン・オーケストラへの参加、また、国内の主要なオーケストラにソリストとして招かれ、リーバーマン、ヒンデミット、アルウィンなどの協奏曲の日本初演を行うなど活躍の場を広げてきた。2013年にはアカデミー賞、グラミー賞受賞で知られる作曲家 タン・ドゥン氏の「13のマイクロフィルムとハープのための協奏曲」を作曲家自身の指揮で世界初演した。（この曲はNHK交響楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団の共同委嘱作品である）現在、東京藝術大学、及び国立音楽大学にて後進の指導にもあたっている。

時を経て・・・幼なじみの二人が紡ぐ天空の調べ

『Sound of the Sky』

植草ひろみ(チェロ) & 早川りさこ(ハープ)

時に優しく、時に力強い二人の息のあった演奏を、
ホールの響きも一つの楽器となりサポート。

天から音が舞い降り、また駆け上るような感覚を味わえます。

「サウンド オブ ザ スカイ」まさに天空の調べを、その耳で感じてください!!

1. ショパン：ノクターン 作品9第2番
2. マスカーニ：間奏曲 歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』より
3. ピアソラ：カフェ1930
4. カッチーニ：アヴェ・マリア
5. マスネ：タイスの瞑想曲
6. ヒナステラ：忘れる木のうた
7. ガリアーノ：セーヌのブルース
8. フォーレ：夢の後に
9. マイヤース：カヴァティーナ 映画『ディア・ハンター』より
10. トウルニエ：ノクターン 作品21
11. ギャニオン：明日

SOUND OF THE SKY

RISAKO HAYAKAWA HIROMI UEKUSA



CD 8ページブックレット(曲目解説+秘蔵写真)
HDI 80004 2,500円(税込)

ハイレゾサラウンドでも配信中!!